

スジグロチャバネセセリとヘリグロチャバネセセリの 2 種はとてもよく似ていて、野外で観察するだけではどちらなのかを容易には判別できない。両種ともに幼虫が主にイネ科植物を食草としていて、樹木と草原が入り混じった環境に生息する点も共通している。日本での生息分布は、スジグロチャバネセセリが北海道から本州で近畿地方では兵庫県西部だけと分布が限られるが、ヘリグロチャバネセセリはさらに四国、九州にまで広く分布している。

Aug. 19, 2008 長野入笠山

ヘリグロチャバネセセリは 2008 年 8 月 19 日、入笠山のアカツメクサやヒヨドリバナが咲く標高の高い草原でスジグロチャバネセセリとともに捕獲したのが初めて確認した記録となっている。総じてセセリチョウの仲間は体が小さく、標本化目的に捕獲してもネット内で激しく暴れて背中部分の細毛がはがれてしまうのが悩みに種で、そのせいでセセリチョウの仲間に対する関心が低くて標本も乏しく、せめて写真記録で残そうかという対象となっている。スジグロチャバネセセリについては松本市の扉峠で撮影記録がとれているが、本種はまだとれていなく、今後のチャレンジ対象だ。



Aug. 19, 2008
長野入笠山
leg. M.Shimazaki



参考：スジグロチャバネセセリ

Aug. 16, 2013 扉峠